

消化器外科

全国トップレベルの外科治療を提供し、
治療困難な患者様にも地域最後の砦として最適な治療を提供します

【消化器外科とは】

食道グループ

3名の食道専門医・2名の内視鏡外科技術認定医が在籍し(広島県では当院のみです)、ロボット支援下手術や胸腔鏡手術をほぼ全例で行っています。進行食道癌にたいしては術前化学療法や術前化学放射線療法など集学的治療を行い、術後は医師・看護師以外にも作業療法士、理学療法士および歯科医や栄養士を含めたチームによる周術期管理を行い術後成績向上に努めています。

胃グループ

2名の内視鏡外科技術認定医が在籍し、積極的に腹腔鏡手術を行っています。2018年から始めたロボット支援下腹腔鏡胃癌手術は、これまでに160件以上の症例を経験しています。さらに、広島県内でも数少ない日本胃癌学会施設認定Aの認定を受けており、内視鏡治療、化学療法、放射線治療を含む総合的な胃癌治療を提供しています。機能温存の観点から、胃の全摘手術を避ける取り組みも行っています。

大腸グループ

大腸外科医3名で診療を行っており、うち2名は内視鏡技術認定・ロボット手術プロクターの資格を持ち、低侵襲手術(ロボット・腹腔鏡)を積極的に実施しています。大腸癌手術は年間200例を超え、県内でもトップクラスの実績です。直腸癌には放射線・化学療法を組み合わせた集学的治療も取り入れ、肛門温存と治療成績の向上を目指しています。今後も一人ひとりの多様なニーズに応じた治療を追求していきます。

【悪性腫瘍手術症例数】

	2022年	2023年	2024年
食道 (鏡視下)	12 (12)	18 (18)	26 (26)
胃 (鏡視下)	58 (33)	55 (40)	65 (48)
大腸 (鏡視下)	178 (145)	217 (183)	209 (186)
計	248	290	300

【スタッフ紹介】

▶ 檜原 淳(H2年卒)

○役職:副院長
○専門:食道/胃

▶ 加納 幹浩 (H10年卒)

○役職:消化器外科部長
○専門:胃

▶ 青木 義朗 (H13年卒)

○役職:消化器外科部長
○専門:食道

▶ 恵美 学 (H9年卒)

○役職:消化器外科主任部長
○専門:食道

▶ 清水 亘 (H12年卒)

○役職:消化器外科部長
○専門:大腸

▶ 安達 智洋 (H16年卒)

○役職:消化器外科部長
○専門:大腸

▶ 山本 悠司 (H17年卒)
○役職:消化器外科部長
○専門:胃

▶ 今岡 洋輝 (H25年卒)
○役職:消化器外科副部長
○専門:大腸

外来診療担当	月	火	水	木	金
1診	清水 (大腸)			青木 (食道)	檜原 (胃/食道)
2診		山本 (胃)	恵美学 (食道)		
3診		加納 (胃)		今岡 (大腸)	安達 (大腸)
4診			AM清水 (大腸)		

【連携のお願い】

当院は広島県の地域がん診療連携拠点病院として、科学的根拠に基づいた治療を行うとともに、手術療法以外にも化学療法、放射線治療、緩和医療など進行度に合わせた治療を提供できる体制を整えています。

消化管の癌が疑われる患者様がおられましたら、手術適応の有無にかかわらずいつでもご紹介ください。



▲消化器外科ページ